

産業廃棄物処理計画書

R5年 5月 26 日

久留米市長 殿

提出者

住 所 久留米市日ノ出町100番地

氏 名 半田建設株式会社

代表取締役 半田 利通

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

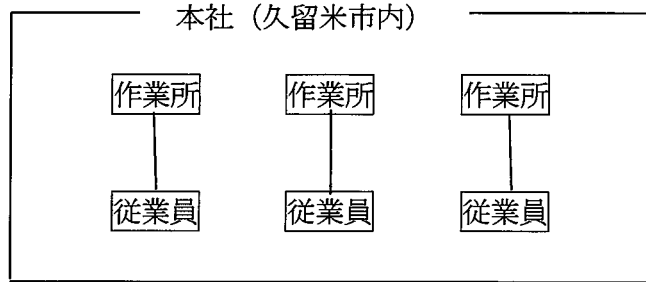
電話番号 0942-34-4132

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	半田建設株式会社
事業場の所在地	久留米市日ノ出町100番地
計画期間	R5.4.1~R6.3.31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	元請完成工事高 (1,868,000 (千円))
③従業員数	36人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙フロー図

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



・産業廃棄物処理責任者は、各作業所長とする。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	3255.28 t	t
	(これまでに実施した取組) ・前年度は、産業廃棄物の排出量は解体工事の増加により増えた。 再利用できる物は再利用に努めた。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	4000.00 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・今年度は、現在大型解体工事をしているため、 産業廃棄物の排出量は昨年度より増大すると思われる。 産業廃棄物は再利用を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・産業廃棄物の品目ごとに分類して再利用している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今後も産業廃棄物の品目ごとに分類して再利用を行う。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

R5年度 産業廃棄物処理・集計表

半田建設株式会社

品目	コンクリート	アスコンがら	その他がれき	ガラス・陶磁器	廃プラスチック	金属くず	石綿含有	混合廃棄物	建設汚泥
排出量	1700	150	40	40	45	80	15	480	1000
計	1700	150	40	40	45	80	15	480	1000
再利用	1700	150	40	40	40	70	10	300	1000
埋立					5	10	5	180	
燃料									
優良認定処理業者への処理委託量	1700	150	40	40	35	70	15	180	1000
自ら行う産業廃棄物の再利用に関する事項									
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
計	1700	150	40	40	45	80	15	480	1000

品目	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	廃電気機械器具	ばいじん 付着汚泥	ばいじん 付着がれき	合計
排出量	10	350	10	80	0	0	0	4000
計	10	350	10	80	0	0	0	4000
再利用	10	350	10	80				3800
埋立								200
燃料								0
優良認定処理業者への処理委託量	10	50	10	50				4000
自ら行う産業廃棄物の再利用に関する事項								0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								0
計	10	350	10	80	0	0	0	4000